

五條市の未来をあとからめない



自民党
公認

♡ 自民党五條市支部女性局長

さいとう
ゆき 有紀

さいとう有紀の熱い思い!

五條市を見つめ直したとき、子供を持つ母親として、また仕事を抱える女性として、さらに市民としてこのままで良いのか? もっと女性が活躍する社会が必要ではないか? もっと人々が夢を持って幸せに暮らすための教育や福祉の充実が必要ではないか?大震災を経験した防災士の立場からも、安心して暮らせるまちづくりが必要ではないか? もっと住み良い夢のある五條市にしたい。そうした思いが沸々と湧き、市議会議員にならせて頂きました。

政治に身を投じ市議会でも様々な勉強をさせて頂いてますが、やはりこの五條市には県との連携、国との繋がりが不可欠だと強く感じ、有難いご縁を頂いて県政の場へとチャレンジする機会を得ました。

もちろん微力でまだまだ未熟ですが、皆様に育てて頂きながら、五條市と県・国とのパイプ役として県政の進展に貢献・活躍できるよう、そして市民の皆様と共に歩み、お役に立てるよう一層精進する覚悟ですので、何卒宜しくお願い申し上げます。

さいとう有紀後援会 会長挨拶

秋本 登志嗣



市民の皆様方には日頃より大変お世話になっております。また長年お支え頂いたことに改めて感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、私の議員活動引退に伴い、後継に「さいとう有紀」を指名させて頂きました。ご承知の通りさいとう有紀は、まちづくりへの高い目標を持ち日々研鑽努力を重ねており、何よりも五條の進展に熱い思いを持っております。特に女性目線で行政を見つめ提言する姿勢は卓越したものがああります。国・県・市との連携が益々重要となってくる時期に、そのパイプ役として実に相応しく、その手腕に大いに期待するものであります。

つきましては、このさいとう有紀を県政の舞台へと送り込み、県と市を繋ぐ皆様の役に立つ女性政治家として大きく飛躍してもらうため、私共も精一杯支えて参りますので、どうか皆様のご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。



郵便はがき

637-8790

奈良県五條市住川町二二〇一
ヒルトップSUGAWA A号室

さいとう有紀

後援会事務局 行



さいとう有紀に
皆様のお力をお貸してください。



五條市にお住まいの
ご家族、ご親戚、ご友人、
お知り合いの方を
ご紹介ください。



LINEやWebからも、
ご入会いただけます。

さいとう有紀 後援会入会申込書

ご紹介者様 ご記入いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法に基づき、その他の目的に使用いたしません。

ふりがな	年齢 / 性別
お名前	歳 / 男・女
ご住所	〒
電話番号	

五條市にお住まいのご家族、ご親戚、ご友人等
お知り合いの方をご紹介ください。

ふりがな	年齢 / 性別
お名前	歳 / 男・女
ご住所	〒 五條市
電話番号	ご紹介者との関係

ふりがな	年齢 / 性別
お名前	歳 / 男・女
ご住所	〒 五條市
電話番号	ご紹介者との関係

ふりがな	年齢 / 性別
お名前	歳 / 男・女
ご住所	〒 五條市
電話番号	ご紹介者との関係

SNSでも情報を
発信しています。



さいとう有紀
公式LINEアカウント

<https://saito-yuki.com>

さいとう有紀後援会

〒637-0014 五條市住川町220-1 ヒルトップSUGAWA A号室
TEL.0747-24-3110 FAX.0747-25-3333

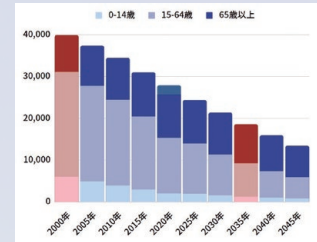
明日の五條へ！
さいとう有紀は目指します

【選ばれるまち五條市へ】

2000年約4万人だった五條市の人口は、2035年には2万人を切る予想です。この急激に進む人口減少や過疎化を今こそ食い止めなくてはなりません。選ばれるまちになるための行動が必要です。



- ▶ 官民一体でまちの魅力や可能性を生かし、産業と雇用を創出
- ▶ 関係人口を増加させる仕組み作りと発信
- ▶ 移住者を増加させるための住環境の向上



【福祉の充実と女性が活躍する五條市へ】

2人の息子を育てる母親です。育児と仕事の両立には常に不安が付きまといま。女性がさらに活躍できるまちにすることがまち全体の活力につながると強く感じています。また、高齢者福祉をはじめ社会全体での福祉の拡充と共に、子供たちの未来を拓く教育の向上も不可欠です。



- ▶ キャリアやワークライフバランス、子育てに悩む女性の支援
- ▶ 子育て支援の拡充。まずは子ども医療費一律無償化の実現
- ▶ 政治やまちづくりに女性の声を届けるため、女性の政治参画機会の向上
- ▶ 高齢者福祉はもちろん、幅広い社会福祉の拡充、教育行政の向上

【災害に強い五條市へ】

自身が阪神淡路大震災、東日本大震災の両方に被災し、悲惨な現場や避難所生活を経験した防災士としての視点で、いつか発生する南海トラフ地震に備え、皆様が安心して暮らせる五條市を創っていく必要があると強く思っています。



- ▶ 紀伊半島の防災拠点となる、奈良県大規模広域防災拠点の整備推進
- ▶ 実体験を活かした、実効性のある防災計画の整備と推進
- ▶ 国・県・市の縦のつながりと、近隣市町村との横のつながりの構築と深化



【五條市から奈良を盛り上げる】

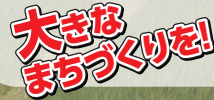
地域がそれぞれの特徴を活かし、自律的で持続可能な社会を創ることが地方創生だと考えます。コロナ禍で首都圏一極集中が見直されている今だからこそ、地方でのデジタル化を推進し、五條市から地方創生、奈良県の活性化実現へ頑張ります。



- ▶ デジタルを活用し、地方と都市部の格差是正
- ▶ 住民の皆様により使いやすく、より情報を届けるために行政サービスのデジタル化を推進
- ▶ スマート農業の促進など、民間事業者のデジタル化促進に向けたインフラ整備の推進

【国、県、市の三位一体へ】

どんな施策も絵に描いた餅ではいけません。国・県・市が三位一体となり事業を推進することが不可欠と考えます。



- ▶ 財政難の五條市だけでは行えない事業も国や県のバックアップで実現
- ▶ 国や県と積極的に情報共有を行い、スムーズな事業運営を実現

さいとう有紀 プロフィール

1984年6月15日生まれ
家族 夫、息子2人

智辯学園高校、京都女子大学文学部国文学科卒業
元FM五條パーソナリティ
2021年 五條市議会議員当選
防災士 — 1995年阪神淡路大震災 2011年東日本大震災被災の経験を経て防災士を取得

主な役職

五條市議会広報編集委員 委員長
旧庁舎跡地利用特別委員会 副委員長
厚生建設常任委員会 委員